

令和6年度第2回市川市公民館運営審議会 会議録

開催日時：令和7年2月4日（火） 午後1時30分～午後2時30分

開催場所：市川市生涯学習センター3階 第2研修室

1. 出席者

委員長 小山勝

副委員長 井上孝枝、伊与久剛史

委員 田部井伸郎、岩下裕昭、鈴木敬子、大橋愛生、亀山達次、高橋大策、
平山健次

社会教育課 課長 渡邊雅直、主幹 皆川和幸、岩澤主任、上甲主任、
岩生主任主事、堀主事

公民館館長 鬼高公民館長 瀧上和彦、信篤公民館長 中野政夫、
東部公民館長 小泉貞之、柏井公民館管理運用マネージャー 堀切宏、
大野公民館長 川島智、若宮公民館長 関武彦、市川公民館長 高久利明、
西部公民館長 菊田滋也、市川駅南公民館長 横地眞美恵、
曾谷公民館長 鹿倉信一、行徳公民館長 永田治、
本行徳公民館長 小沢俊也、幸公民館長 藤田泰博、
南行徳公民館長 小林茂雄、菅野公民館管理運用マネージャー 鈴木孝弘

2. 議題

令和6年度公民館の取り組みについて（報告）

3. 会議録

○岩生主任主事

・資料の確認

・会議進行の注意事項

それでは、会議を進行してまいります。

開会に先立ちまして、社会教育課長よりご挨拶いただきます。渡邊課長お願いいたします。

○渡邊課長

社会教育課長の渡邊です。

審議会委員の皆様におかれましては、寒さの続く中、本日の第2回審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

令和6年度も、公民館を利用している団体や住民の方々、近隣の学校、気鋭のアーティストなど地域で活動されている方々と、多くの皆さまからご理解とご協力を賜り、公民館を運営してまいりました。また、コロナ禍が開け、文化祭をはじめとする館内行事を、本格的に再開することができた1年でもありました。

そこで第2回審議会では、このように今年度各館が館長を中心に取り組んできた内容を委員の皆さまに報告させていただく場といたしました。

そのため、口頭でのご説明は、時間の都合上、大変恐縮ではございますが、7つの館からとさせていただき、残る8館については資料によるご報告となりますが、ご質問につきましては、15公民館全ての資料が対象となりますので、ご質問の際は該当の公民館をご指名ください。

本日は、よろしくお願いいたします。

○岩生主任主事

ありがとうございました。

それでは、開会といたします。

なお、本日欠席者はいらっしゃいません。

審議会の議事進行につきましては、小山委員長よろしくお願いいたします。

○小山委員長

ただいまから、令和6年度第2回公民館運営審議会を開催いたします。

本日は、審議会委員10名のうち10名が出席で、委員の半数以上となりますので、市川市公民館の設置及び管理に関する条例第14条第2項の規定に基づき、本会議は成立いたします。

本日の議題等につきまして、「市川市審議会等の会議の公開に関する指針」第6条に基づき、非公開情報は含まれていないことから、会議内容を、全て公開としてよろしいでしょうか。

○各委員

異議無し。

○小山委員長

それでは、公開で審議会を開催いたします。

市川市では、審議会や協議会などを開催する場合「市川市審議会等の会議の公開に関する指針」により、会議録を作成し、市公式WEBサイトなどで公表することとなっております。

その際、発言ごとに発言者の氏名を記載することとなっております。また、会議録作成のため、録音をさせていただきたく、ご理解のほどお願い申し上げます。よろしいでしょうか。

○各委員

異議無し。

○小山委員長

それでは、ご異議がないようですので、会議録作成のための録音をさせていただきます。

本日は、傍聴者はおりませんので、引き続き議事を進行します。

それでは、令和6年度第2回公民館運営審議会を開会いたします。

次第2「令和6年度公民館の取り組みについて」

事前に15公民館分の資料をお送りしておりますが、本日は時間の都合上半分の館より報告いただきます。

質問は全ての館に対して受け付けますので、7館の報告が終わりましたらお願いいたします。

それでは、鬼高公民館より説明をお願いいたします。

○鬼高公民館 瀧上館長

令和6年度の公民館からの状況報告です。

鬼高公民館は、鬼高2丁目に所在し船橋市に近接しています。JR下総中山駅南口から徒歩7分のところにあり、比較的利便性の高い場所にあります。

公民館単独の施設であり、子供が遊べる庭はありますが、駐車場はございません。

近隣には真間川、鬼高小学校、第六中学校があり、高齢者の方の利用が多い状況です。

次に、主催講座です。

令和6年度のテーマを「自ら学ぶ環境の提供と地域のつながりを意識する」として、前期では椅子ヨガや昭和歌謡など全5講座を開催いたしました。

なお、カッコ書きで（地域連携）とありますが、当館で活動しているサークルの講師に主催講座の講師を依頼するなどしたものです。

アンケート結果はほぼ満足と回答いただいております。

「やや不満」が6%ございましたが、これは、①「暮らしに役立つお金の基礎知識」の講座におきまして、出席した方から「新NISAについてもっと知りたかった」と回答があったためです。

成果としましては、お金などの暮らしの知識や手芸、健康などの自ら学ぶことをテーマにした講座を開催することができ、応募者が3倍となる講座もございました。

課題は、学校連携や子供を対象とした講座の開催ができればよかったと考えています。

次に、後期は7講座を開催しております。こちらは、市川にゆかりのある文学作品や、編み物、ピラティスなど幅広いテーマで開催中です。

講座の様子の中の写真は、馬頭琴の講座の様子です。こちらは、この建物の2階の文学ミュージアム内にある、ベルホールで開催いたしました。

定員は、46名と小規模ではございますが、音響や照明設備が整っておりまして、参加者から、「大変良かった」と感想をいただいております。

次期計画の視点としては、今年度のテーマで不足しておりました、学校連携や子どもを視野に入れてテーマを検討、引き続き、自ら学ぶことをテーマとした講座を検討、地域で活動する方を講師とし地域連携を図るとしております。

事業名称は「鬼高小学校放課後こども教室」となっておりますが、これは、当館で活動しているサークルに依頼し、こども教室で歌や折り紙などを子ども達に見せたり、一緒にやったりする活動を準備しているところでございます。

次に、ギャラリー・集会室ですが、当館の1階には談話室という誰でも無料で活動できる場所がございます。ここでは、サークル募集のポスターや各課からのチラシ等を置いていたり、市民の方への情報コーナーにもなっております。

また、現在市が進めております、健康寿命日本一の施策であります、体組成計と血圧計が配置されており、計測に一日約20人が訪れ、訪れた方が、ポスターやチラシを見て情報を得ており、効果的に活用されているところであります。

文化祭につきましては、総括に記載の通り、コロナ禍前に担い手の高齢化に伴い、利用者協議会が解散となりましたことから、今回新たに文化祭に特化した、文化祭準備会を組織しての文化祭となりました。そのため、歌とダンスの発表が7団体だけとなり、1日だけの開催となりました。折り紙と書道の作品展示が2団体あり、談話室で文化祭後の一週間展示して、多くの方に見ていただきました。物品販売につきましては、市川レンコンの会と鬼高小学校鬼高っ子祭り実行委員会に出店していただき、野菜やクッキーを販売しました。今後は多くの方が来館していただけるよう、より学校や地域連携を図り開催したいと考えております。

以上、鬼高公民館からの報告でございます。

○信篤公民館 中野館長

公民館と周辺地域の特色については、「市川市の公民館」の冊子に掲載されておりますことから、説明は割愛させていただきます。

一つ目の主催講座についてですが、令和6年度のテーマを「日常生活で喜びを感受できる心と体の健康づくりにつなげる講座の実施」と位置づけ、前期で6つ、後期で5つ開催し、後期ではデジ活講座を実施しております。

また、表の講座名の右側には取り組み傾向を示させていただきます。

前期講座のアンケートでは、「満足」と回答した方が94%を超える結果となっております。講座終了後の成果と課題を示させていただきますが、その中で、課題の最後にあります、主催講座当日に連絡なく不参加となる人が各講座2名程度いる状況で、申込者が多い講座では落選する方も多く、過年度も含め、募集時の課題と認識しているところであります。

また、資料には記載していませんが、今年度の主催講座の総括として、前期と後期で2つの主催講座からサークル活動へと発展したのが、前期①「はじめましょう!フラダンス」と、後期②「暮らしの中に俳句を見つける第一歩」で、今後の公民館主催講座事業の発展に寄与するものと評価しております。

次に、主催講座・貸室業務以外の取り組みについてです。

学校・地域連携では、公民館敷地内駐車場にて、市川特別支援学校による「ふれあいフェスタ」を開催しました。令和5年度までは、毎年7月上旬に「サマーフェスタ」として開催してきておりましたが、近年の猛暑による生徒の健康管理を考慮し、1月開催としたもので、毎年多くの地域住民の方が楽しみにしている事業でございます。

公民館では駐車場を利用し、公民館・体育館・図書館・子ども館のご利用者の協力の周知ポスター、横断幕の設置の手伝い、販売機の貸し出しと準備作業の補助などを行っております。イベントの内容は、生徒が日頃から育てた野菜類・手工芸品・園芸品などの販売を通して、市民との金銭のやり取りや、釣銭勘定等、地域の人々との関わりを体験することで、活動意識の向上と育成支援につながることから、この事業を継続したいと考えております。

また、近隣幼稚園や、小規模保育園などの避難訓練、地震体験、消火訓練を、公民館の非常階段や広場を利用して実施しており、公民館では、誘導支援、安全確保支援を行っております。

さらに、資料には記載していませんが、今年度から復活しました高谷中学校の職業体験として本年1月30日に3名の生徒が体験実施いたしました。

次に、5ページの文化祭についてです。今年度は、10月19日・20日の2日間で開催し、天気も良く地域住民が来場され、2日間で来場者が3,000名を超える盛況でございました。

開催に際し、信篤・二俣地域の小中高及び幼稚園、市川特別支援学校、高齢者サポートセンター・社会福祉協議会・地域ケア・地域作業所『おおぞら』・フリーマーケット参加者をはじめ信篤公民館利用者協議会の会員の多くの協力を得ながら、地域連携のもと実施できたと評価しております。

今後の課題として、利用者協議会の役員を含め、各サークル団体の高齢化により、文化祭開催に伴う様々な意見要望は多く出されるものの、設営・撤去作業が負担となり参加者が減少している現状があります。次年度以降文化祭を継続するためにも、実現可能な体制・負担軽減が図られる工夫の検討が必要なことから、今後の利用者協議会の役員等で協議してまいります。

以上、信篤公民館からの報告でございます。

○大野公民館 川島館長

大野公民館と周辺地域の特色でございますが、大野公民館は市川市の北東部に位置し、昭和56年9月に市内で9番目の公民館として開館いたしました。

市川の特産品である梨の生産が盛んな地域で、昭和53年のJR武蔵野線の開通や大野地区土地区画整理事業の完成などにより急速に発展した地域でございます。

大柏出張所に併設した地域コミュニティの中心的な施設として活用されております。

まず、主催講座の開催についてご説明します。

令和6年度のテーマは「幅広い世代の学びと健康を支援する」でございました。

実績報告といたしましては、前期に6講座、また後期には7講座を開催しております。

いずれも、アンケート調査から「満足」「やや満足」の割合が97%で、一定の成果を収めております。

幅広い世代に対して講座を展開し、サークル化した講座もあったことが成果でございます。

また、課題といたしまして、ものづくりや趣味の講座が多い傾向があるということがございます。

講座の様子ですが、大野公民館は調理実習室を活用した料理講座等が非常に人気となっております。

次期計画の視点でございますが、引き続き幅広い世代を対象とした学びと健康を支援する講座を実施してまいりたいと考え、ものづくりや趣味の講座に加えて、防災や防犯といった地域連携に資する講座も企画していきたいと考えております。

続きまして主催講座・貸室業務以外の取り組みでございますが、学校・地域連携ということで、商店会との連携を活発にしております。

近隣地域の商店会である大野中央商店会と連携して、5月には鯉のぼり祭り、10月にはハロウィンなどの季節のイベントを合同で開催し、地域の活性化を図っております。

また、ギャラリー・玄関ロビーなどを活用しまして、近隣の福祉団体や市川大野学園の作品など、玄関ロビーを貸出して販売会等を実施しております。

地域の活性化と施設のPRを同時に行っている活動でございます。

3番目は文化祭で、今年は、10月19日、20日の2日間で行いました。2日間の来場者合計が800名とありますが、これはカウントしているだけです。1,000名を超える集客を迎えることができました。

昨年度に引き続き、サークル協議会や公民館職員が連携して開催した文化祭が地域住民に好評で、満足度の高いイベントとなっております。次年度以降もサークル協議会と連携し、さまざまな団体も引き込みながら文化祭を実施していきたいと感じております。

資料は、バザーや作品展示、演技の発表会の様子です。いずれも盛況でぜひ来年も開催してほしいと好評をいただいております。

以上、大野公民館からの報告でございます。

○若宮公民館 関館長

若宮公民館は市川市北東部に位置し、法華経寺を中心に多くの神社や史跡に囲まれて、昭

和62年5月に市内12番目の公民館として開館いたしました。

大項目の1.主催講座の開催についてでございます。

若宮公民館の令和6年度のテーマは、「健康・福祉・環境をテーマにした学びの場の実現」としました。

今年度の市川市の施政方針の重点施策にもうたわれております「健康・福祉・環境」をテーマとして、近隣の住民をはじめ、公民館利用者の他、周辺の学校や地域に対して、積極的に学びの場を提供してまいりました。

(1)の実績状況といたしましては、身近な問題として、①「エコライフ講座～温暖化とごみ問題」や子供を対象として②「楽しく学ぼう！地球温暖化」ということで、夏休み期間中にソーラー電池で動くヘリコプターを作り、地球温暖化についてもわかりやすく説明し、大変好評を得たところでございます。

また、後期講座といたしましては、②「新聞紙でエコバック」、⑥「かっぱ体験で健康に」と、健康と環境をテーマに開催したところでございます。

アンケート結果に関しましては、記載の通り一定の成果があったと思っております。

(2)の次期計画の視点でございます。

今年も市の施策を重点に取り組んでまいりましたが、特に次年度は、障がい者が積極的に参加できるような講座にも取り組んでまいりたいと考えております。

続きまして、大項目2.主催講座・貸室業務以外の取り組みについてご説明いたします。

(1)の学校・地域連携でございます。

学校運営協議会への参加をはじめ、地域の餅つき大会、凧揚げ大会、など様々な場面で公民館を利用していただいています。さらに今年は来週の2月15日から始まります、「第15回中山ひなまつり」においても若宮公民館を参加団体として登録し、ひな人形や吊るし雛を飾るなど、3月3日までの間、館の様々なイベントやクイズラリーなどで盛り上げていきたいと考えております。

(2)のギャラリー・集会室でございます。

ギャラリーに関しましては、若宮公民館の利用者でもある、立体造形作家の「マークンネコガスキー」さんの作品を展示しております。昨年は2件のテレビ取材があり、5月にはテレビ東京の「モヤモヤさまぁ〜ず」、11月には日本テレビの「ぶらり途中下車の旅」の取材がございました。タレントのさまぁ〜ずさんや、なぎら健壺さんも来館して、テレビの影響もあり来館者もとても増え、作品を見に、遠くは新潟県からいらっしゃった方もいました。

(3)文化祭についてでございます。

昨年度はコロナ開けということもあり、1回開催でしたが、今年は2日間開催いたしました。近隣の若宮小吹奏楽部によるオープニングセレモニーから始まり、昨年も実施いたしました、「若宮・中山検定」や、登録サークルによる作品展示、舞台発表、先ほどご紹介しましたテレビ出演のあったマークンネコガスキーさんのワークショップなども開催いたしました。2日間で延べ1,000人程の方が来場されました。

また、運営に当たっては、第四中学校の生徒がボランティアとして携わるなど、文化祭は様々な方が集い、世代間の交流の場になったと思っております。

最後に、(4)のその他といたしまして

「若宮公民館だより」でございますが、昨年度創刊いたしまして、現在第7号まで発行しております。内容は、若宮公民館の日々の活動、制作を順次紹介するなど、大変好評を得ているところで、近隣自治会への掲示や回覧などをいただいて、配布数も昨年度に比べ、大幅に増えているところでございます。

また、若宮公民館のロゴマークも作り、だいぶ浸透してまいりまして、「若宮公民館だより」をはじめ様々な場面で使用しております。

今後新たな取り組みに挑戦しながら、若宮公民館の利用につながっていければと思っております。

以上、若宮公民館からの報告でございます。

○市川公民館 高久館長

市川公民館は、市川駅北口より北西に徒歩5分、真間山弘法寺へとつづく参道ともなっている大門通りの入口となる国道14号線沿いに位置しております。

施設は、鉄筋コンクリート造、地上4階、地下1階、貸室14室と図書室となっております。また、隣接駐車場に駐車スペースを確保しております。

駅周辺には商業ビルが立ち並び、商店街もあり、また、千葉商科大や和洋女子大など学校も多いことから、学校へ向かう学生の姿も多く見られ、とても賑わいのある地域となっております。

次に、1番の主催講座の開催でございます。

令和6年度のテーマは、「新たな趣味の発見や地域の人との交流を深めるための支援」としております。

(1)実績状況でございますが、①「いつまでも若々しく生き生きと！」を含む全9講座となっております。

成果と課題としましては、いずれの講座も満足度が高く高評価でありました。サークルへ移行した講座もあり新たな地域の人との交流も生まれております。

①「いつまでも若々しく生き生きと！」がフレイル予防体操の講座でしたが、これがサークルへと移行いたしました。

後期は、①「声を出してスッキリ～初めての朗読」を含む全7講座を実施しております。

いずれの講座も満足度が高く高評価でありました。サークルへの移行を希望する講座もありますが、いずれも代表者となる人がいないなど最初の立ち上げが課題であると書いており、この時点で①「声を出してスッキリ～初めての朗読」がサークルにしたいということで動き始め、最近になって代表者も決まり、サークルとなりました。裏面は、講座の様子でございます。

(2) 次期計画の視点ですが、新たな趣味の発見・知識の習得・地域の人との交流が生まれるような講座を企画するとしております。

次に、2番ですが、主催講座・貸室業務以外の取り組みでございます。

文化祭を、市川公民館では「ふれあい祭り」と呼んでおり、令和6年10月26日(土)・27日(日)の2日間で実施して来場者は1,440人でした。

「ふれあい祭り」概要ですが、作品展示として、華道、絵画、書道、刺しゅう、絵本の展示及び読み聞かせ等11団体が参加いたしました。

演技発表としては、楽器演奏、コーラス、マジック、空手演舞、踊り等22団体が参加しております。

その他に、茶道サークル(1団体)によるお茶会、休憩室を設けて無料のお茶の提供などを実施いたしました。

総括ですが、作品展示、演技発表参加サークル以外にも会場設営、後片付け、お祭り当日の運営に利用者協議会92サークルが何らかの業務に参加しており、みんなで作り上げた文化祭となっております。その下が文化祭の様子でございます。

以上、市川公民館からの報告でございます。

○南行徳公民館 小林館長

まず、南行徳公民館、公民館と周辺地域の特色についてでございます。最寄り駅である東西線南行徳駅から徒歩20分程度かかります。徒歩5分程度にわくわくバス、また京成トランジットバスの停留所がございますが、運行本数は日中ですと1時間に1~2本程度と非常に少ない状況でございます。

その代わり、駐車場がございまして、10台程度駐車できる環境でございます。

また、館内には、こども館及び放課後保育クラブ、南行徳地区社会福祉協議会の事務所を併設しております。

周辺は住宅地、南行徳小学校、南行徳幼稚園が近隣にございます。

そのため、子供のみでの来館も多く来館者の年齢層は幅広いと感じております。

主催講座の開催についてでございます。

令和6年度のテーマは「学校・地域との連携を深め、多様な取り組みを目指す」というものでございます。

実績については、前期後期それぞれ、枠内に書かせていただいております。

子どもたちを対象にしたもの、それから公民館の利用者で圧倒的に多い高齢者の方を対象としたもの、様々な角度の多様な講座が開催できたものと考えております。

アンケート結果につきましては、99%以上の方が満足とお答えいただいております。

「やや不満」が0.8%ございますが、前期後期それぞれ1講座にお一人ずつ、「もう少し詳しく聞きたかった」あるいは、「もう少し長い時間講義してほしかった」というどちらかという前向きなご要望をいただいたと考えております。

また、後期講座の③「チェスを始めよう」につきましては講座のあとで、受講されたメンバーでサークルを結成し、現在活動をされています。

成果と課題につきましては、子どもからシニア向けまで、幅広い年齢層を対象とした講座を開催することができました。

また、前期③「知っておきたい「資産凍結」と「相続」」ですが、講師が遠隔地からリモートで講義し、プロジェクターで映しました。会場には補助者に会場に来ていただいて初めて講座を行いました。スムーズに問題なく実施できました。

各講座とも受講者の満足度は高く再度の開催を期待する声も多くいただいております。

また、子ども向けの講座をいくつか行いましたが、土日に設定したことが影響したのか、応募者が少なく、近隣の小学校や図書館にポスターを貼らせていただく、児童館に周知をお願いするなど様々な告知を行いましたが、今後は更なる工夫が必要となると考えています。

次期計画の視点でございます。

多数の興味を得やすい『健康』について、座学だけではなく楽しみながら身体のケアを実践する講座を多く企画してまいります。

また、全館共通のテーマであります、『学校・地域との連携』についても、子供を通じ家族で参加しやすく、地域行事への関心向上にも寄与し得る講座を企画してまいりたいと考えております。

続きまして、2番、主催講座・貸室業務以外の取り組みでございます。

学校・地域連携として、近隣小学校南行徳小学校のイベント「町たんけん」での訪問先として児童を受け入れ、館内の案内や説明及び質問への回答を行いました。

来館児童数は32名でございました。

その後、来館した子供たちからメッセージカードを1枚ポスターにしたようなものをいただきまして、館内に掲示してございます。

文化祭です。令和6年10月19日（土）と20日（日）に開催いたしました。

来場者数は2日間で725人でございました。

各サークルによる展示や発表。近隣小学校などの資料記載の1園4小学校から、絵画、書写等子どもたちの学習をお借りし、展示をいたしました。

また、南行徳地区社会福祉協議会による手作り作品販売等もございました。

子ども館もございますので、こども館の中で遊具を開放いたしまして、たくさんの子供たちに楽しんでいただけたと思っております。

簡単な模擬店ということで、サークル協議会による弁当や飲み物等の販売も行いました。

総括といたしまして、実は、令和5年度より来館者数は減少しておりますが、十分な賑いであったと思っております。

事前準備や事後撤収作業についてもサークル協議会との密な連携によりスムーズに行うことができたと考えております。

以上、南行徳公民館からの報告でございます。

○菅野公民館 鈴木館長

本公民館の特色でございますが、2004年に中央公民館分館として菅野6丁目に開館いたしました。その後外環道路の敷設に伴い、現在の場所に菅野公民館としてリニューアルオープンしました。

周囲は、菅野小学校、国府台女子学院、日出学園と学校に囲まれ、文教地区にあるコンクリート打ちっ放しの平屋建ての公民館でございます。

広場、地域ケアシステム、駐車場16台（充電スポットを含む）を併設しております。広場に関しましては、令和5年度の利用者数は、18,688人で、1日平均約70人が利用しております。午前は保育園の子どもたち、午後は小学生や中学生、土日は親子の利用が多く、公民館としては広場を活かした主催講座やイベント等も実施しています。

菅野公民館には5部屋あります。多目的ホールと第2学習室には大きな鏡があり、多くの運動系サークルが使用しています。第2学習室の鏡は令和4年4月1日に設置しました。設置後は太極拳、新体操、ベリーダンス等の運動系サークルの利用が273%増加しました。主催講座についてご報告です。

令和6年度のテーマを「教養を深め、人生をいきいき送る主催講座」としました。

前期は、記載の4つの講座とこれ以外にスマホ講座を2講座実施しております。

アンケート結果からは、「満足」93%・「やや満足」7%と大変な高評価をいただきました。

成果と課題ですが、受講者の感想からその場限りの講座ではなく、その後の「人生をいきいき送る」ための講座となったことが成果として挙げられます。受講後のアンケートには、「(囲碁)先生に優しくご指導いただきました。機会をみて碁会所にも伺ってみたいと思います。」「(ヨガ)ヨガの健康に対するの姿勢、呼吸等勉強になり、継続していきたいと思う。」「(リズム体操)自分の身体が動きにくいことを痛感した。これを機に家で少しずつ身体を動かそうと思った。」というように、その後の人生に続く感想をいただきました。

課題は、広い部屋が1室しかなくこの部屋はサークルが使用する頻度が高いため、主催講座は小さい部屋を使用することになり、募集定員を少なくしなくてはならず、倍率が高くなり落選者が多くなってしまったことです。例えば、ヨガ10人2.3倍 リズム体操12人4.3倍 ハーブ16人3.4倍でした。

なお、受講者の約8割がリピーターであり、裾野を広げる工夫が必要であると考えております。

具体的には、今後講座別チラシの作成を、新たな講座の企画を考えております。

後期は資料記載の6講座を行いました。講座の様子・写真について説明をします。左側の「はじめての囲碁入門講座」講師は日本棋院東京本院所属 三村芳織（かおり）三段にお願いしました、柔和な語り口で終始なごやかな雰囲気の中進行し、特に初心者には安心して取り組める内容となりました。囲碁には、年齢、性別、国籍を問わず楽しめるコミュニケーションツールとしての魅力があると言われてますが、実際対局練習が始まると、初めてお会いし

た受講者の間からも自然と会話が湧いて出てくる様子が見られました。

真ん中の「始めてみませんか！健康、男性ヨガ」講師はヨガインストラクターの野田道子先生、男性を対象とした運動関係の講座が比較的少ないので、この講座を企画しました。講師の指導の下、受講者全員が真剣にヨガに取り組んでいる姿が非常に印象的でありました。

右側「初夏を楽しむハーブバスケット作り」講師は、市川市花と緑のまちづくり財団から派遣して頂き、受講者とふれあいながら自然を知り、楽しみ、味わうことの大切さを教えていただきました。

次期計画の視点ですが、これまで菅野公民館で実施したことがない講座として、「フラッシュ暗算で脳トレ」「梱包用ポリプロピレンバンドを使ったバッグ作り」「篆刻」、また、人気講座「苔のミニテラリウム」を予定しております。

オンライン講座は今年度「市川の文化人 式場隆三郎にまなぶ 現代を生きるヒント（前編）」を作成しましたので、次年度は後編を作成します。

主催講座・貸室業務以外の取り組みでは、学校・地域連携として、「菅野オリンピック」、広場を使用して市川市社会福祉協議会と連携し、自治会対抗の運動会を実施し、380人が参加しました。

「星空観望会」、広場を使用して第二中学区コミュニティスクールと連携した木星と土星の観察です。今年は曇天のため中止となりましたが、去年は206人が参加いたしました。

「町たんけん」、菅野小学校2年生5人グループ4班、国府台女子学院2クラスと連携し、公民館の仕事調べです。質問としては、公民館の開館はいつなのか。公民館はどんなことをするか。広場の花は何種類あるのか。等質問が出ました。

ギャラリー・集会室です。

地域情報掲載しております。記載した内容以外に、児童が書いた町たんけんのお礼状や、サークル会員募集案内、サークルの作品などを掲示しております。

文化祭です。菅野公民館では文化祭の代わりにラウンジで、夏季作品展を20日間実施しております。

参加団体は8団体、登録サークル7団体 主催講座作品が1講座ということで、サークルが制作したポリプロピレンバンドを利用したバック、書道、こぎん刺し、文芸創作、写真、俳句、小物手芸や主催講座において作成した紙版画作品を展示いたしました。

以上、菅野公民館からの報告でございます。

○小山委員長

丁寧なご説明大変ありがとうございました。ただいまの報告、「令和6年度公民館の取り組みについて」ご意見、ご質問などがありましたらお願いします。

各館それぞれ特徴のある活動されていることがよくお聞きできまして大変ありがとうございます。

○亀山委員

公民館によって状況が違うと思います。地域性や、体育館のような（運動ができる）施設がある館もあるし、全くない館もあるのですか。

先ほど鬼高公民館、子どもを対象にした講座を開催しようとしているとのことですが、他の公民館で実施している子どもを対象とした内容を真似して、また、地域の子どもに関する団体、鬼高地区は地域の子ども会はないですが、地元にある団体（青少年相談員・スポーツ推進員）の人たちとの交流とまではいかなくとも、力を貸してもらってもよいと思います。

信篤公民館でも行事に伴う設営や撤去作業が大変だというお話がありました。どの地域でも問題になっているかと思いますが、信篤地域は学生さんがいるエリアだと思いますので、市川南高校や、高谷中学校に手伝いという形式で学生ボランティアを依頼するなどしていかないと、こういった行事がどんどんなくなってしまうと思います。言葉で言うように簡単にはいかないかもしれませんが、他の団体に手伝いを依頼することもよいかもしれません。

○小山委員長

ありがとうございました。各館でそれぞれの思いを持って取り組んでいらして、大変勉強させていただきました。

他にございますでしょうか。

○平山委員

若宮公民館の後期の3つの講座ですが、「子ども」「土日」「学校・地域連携」の内訳を教えてくださいたいです。

○若宮公民館 関館長

「若宮寄席」「かっぱれ体験で健康に」は土日です。あとは平日です。

○平山委員

「学校・地域連携」はなかったのですか。

○若宮公民館 関館長

「学校・地域連携」の後期講座はないです。

○小山委員長

他にございますでしょうか。

○大橋委員

感想ですが、大野公民館の後期講座「自分で作ろうハンバーガー」に、私の娘の小学校の先生やPTA本部の者も行っていて、ただハンバーガーを温めるのではなく、粉からパンを作り、ハンバーガーもこねて、本格的な講座で、びっくりしたけどすごく楽しかったと大好評でした。次に機会があればみんな誘いあって行こうねというくらい大好評でしたので、こういったことは食育にもつながるので、もっと開催していただきたいなと思っています。

いろいろなところで、町探検でお世話になっております。私の娘も昨年2年生で町探検しましたが、先生にお話を伺うと、探検させてもらえる施設もなかなかなく、お願いに苦労されるとのことなので、皆さんの地区では積極的に誘致していただきたいと思います。ご協力いただければ、子どもたちも喜び、普段から行こうという気になると思います。

○高橋委員

先ほど亀山委員からも、地域の若いお父さんお母さんや、青少年相談員をとのお話がありましたが、青少年相談員自体も地域、子ども会、学校との結びつきが薄くなっているという意見が会議をすると必ず出てきます。

どこに依頼するか、ということが難しいかもしれませんが、イベントを行ってほしい・人手が欲しいなど言われれば、青少年相談員には手伝う人員、おやじの会、親の会などあるので、そういう方と公民館とのつながりを増やして、ゆくゆくは自治会に入って、地域が活性するような、場をつなぐイベントをすると、もっと公民館に行ったら楽しいよねという思いになると思います。

○小山委員長

貴重なご意見、大変ありがとうございます。他にございませんでしょうか。

ありがとうございました。

それでは次に3. その他 社会教育課より連絡事項がありましたらお願いします。

○渡邊課長

特に連絡事項はございません。

○小山委員長

ありがとうございました。本日の議事はこれで全て終了といたします。

その他に、委員の皆様、又は事務局より連絡等はございますでしょうか。

○岩生主任主事

小山委員長をはじめ、委員の皆様、本日は、貴重なご意見をありがとうございました。事務局より会議録作成について事務連絡をさせていただきます。

本日の会議録につきましては、事務局で案を作成し、委員長に確認をしていただいた後に、市の公式ウェブサイト等で公表させていただきます。ご承知おきいただければと思います。

○小山委員長

ありがとうございました。皆様、ご審議ありがとうございました。

○亀山委員

コロナ影響で公民館予約方法を今年度順次変更予定とのことですが、そのあたりお聞きしたいです。これまでは2か月に1度でしたよね。昔みたいに毎月になる、ということをお聞きしましたが、いかがですか。

○渡邊課長

現時点でお伝え出来る範囲内でお答えします。

まず、前提として、公民館を含めて市の公共施設には公共施設予約システムが導入されており、事前に使用者登録を済ませ、IDを取得すれば、インターネット上で予約システムにログインし、使用したい場所と時間を指定して予約することができます。

ただ、公民館の利用者は高齢者が主であることから、予約システムの機能をフルに活用することはせず、2か月に1度、奇数の月に設定された「予約週」に公民館へ出向いてもらい、利用団体の代表者などが予約順のくじびきを行い、決まった順に希望する場所と日にちを予約していくというアナログな方法で予約を受けています。全ての希望者の予約がまとまったら、予約システムに公民館職員がまとめて入力しています。

しかし、公民館以外の勤労福祉センターや男女共同参画センターといった他の市の公共施設では、利用者が利用したい日の3か月前に自ら予約システムにログインして予約申し込みをし、施設の職員は、抽選日が来たら予約システムの抽選機能を使って当選・落選を決めます。

抽選の結果、落選した方は、後日、空き枠の中から使用したい場所と日にちを選んで予約する、という流れになっています。

公民館では、利用者の実情を慮って、この予約抽選機能を活用してきませんでした。令和5年12月から1月にかけて公民館利用者にアンケートを実施した結果、6割の方が導入に支障がないと回答したことから、導入の検討を開始し、利用者の方々が計画的に活動しやすくなるよう3か月前予約の導入も併せて検討します。

他の市施設でも導入されているこの予約抽選方法と3か月前予約は令和7年10月分の予約、つまり令和7年7月から導入する予定で、調整を進めているところです。

詳細をお伝えできるようになりましたら、市民への周知をしていきたいと考えております。

○亀山委員

ありがとうございます。1つ懸念があるのですが、空いている公民館ですと、毎回予定通り体育館が毎週とれるという状況があるのですが、公平を期すということはわかるのですが、市外の団体が来るということはあるのでしょうか。

○岩生主任主事

現在、勤労福祉センターや男女共同参画センターで導入されているこの抽選は、市民の方を対象に抽選をし、抽選後に市外の方の予約を受け付けるという方法で他の施設は実施しております。公民館でもなった形での実施を検討しております。

○亀山委員

結構です。

○小山委員長

他にございますか。ないようですので、皆様、ご審議ありがとうございました。

以上をもちまして、令和6年度 第2回 市川市公民館運営審議会を終了させていただきます。皆様ありがとうございました。